



# 蘇南通信

蘇南高等学校の様子をお伝えいたします  
第2号(2018/5/17)

## 開校記念講演会

4月13日、本校のOBで28回生の小幡義樹先生をお迎えしてご講演いただきました。小幡先生は、三菱グループの三菱地所株式会社にて全国をまわられ活躍されています。

講演では「これから社会人になる皆さんへのメッセージ」という演題で講演していただきました。



## 一斉委員会

4月17日、一斉に委員会と蘇峡祭係会が行われました。委員会では日常生活に関わる活動について、係会では蘇峡祭に向けた話し合いをしました。今年度の蘇峡祭のテーマは『魂』です。生徒はもちろん、地域の皆さんが楽しめる文化祭にします。ご期待ください！

## 海外語学研修発表会



4月21日、授業公開の1時間を使って、3月に海外語学研修でカナダを訪れた生徒たちが10日間の体験を英語で発表しました。生徒は、コミュニケーションの難しさを学ぶだけでなく日本との暮らしの違いを体験することが出来たようです。また、このような貴重な体験を支援していただきました地域の皆様に大変感謝していました。ありがとうございました。

## 生徒総会

4月26日、新体制での第1回生徒総会が行われました。厳粛な雰囲気の下、各委員会による計画や活動報告がありました。新設クラブ・部への昇格・名称変更についても審議が行われました。



長野県蘇南高等学校

〒399-5301

木曾郡南木曾町読書 2937-45

# SONAN INFORMATION FOR STUDENT (No.2)

このページでは、蘇南高校の情報をお伝えします。将来、蘇南高校への進学を考えている中学生やその保護者の皆さんに蘇南高校のことをより知っていただき進学先決定に役立てていただきたいと思います。

## 前回の復習です

前回の蘇南通信No.1では、総合学科の主な特色について紹介しました。次の4つでしたね。

- ① 将来を見つめ、自分の時間割を作ります。
- ② 自分とは何かを問い続けます。
- ③ キャリア教育を重視しています。
- ④ 自ら課題を見つけ、自ら解決を図ります。

## 「将来を見つめ、自分の時間割を作ります」ってどういうこと？

今回は、その特色の中から、「将来を見つめ、自分の時間割を作ります」の説明をします。本校の総合学科では、まず「系列」を選択することから始めます。その後、自分の興味・関心や進路に合わせて、系列内に置かれている科目を選択して時間割を作るのです。入学してから卒業まで、ほとんど科目選択をすることがない小学校・中学校との大きな「差」ですね。

### 用語解説

では、「系列」とは何のことでしょうか？

蘇南高校は、2009年まで「普通科」・「商業科」・「電気科(工業科)」の3つの学科があり、普通科は主に上級学校を目指す人たちが、商業科と電気科(工業科)は主に就職を希望する人たちが集まり勉強していました。各学科に進むと、すでに決められていた学科独自のカリキュラムにしたがって勉強をすることになっていました。だから選択の余地はなかったのです。もちろん、学科を越えて科目選択をすることはできませんでした。たとえば、普通科に進んだ人が商業科の「簿記」を選択することはできなかったのです。

ところが、2010年に総合学科になったことで、普通科・商業科・電気科(工業科)がなくなりました。ただし、学校設立の経緯をふまえて、文理系列・経営ビジネス系列・ものづくり系列という大きなグループを作り、従来の普通科・商業科・電気科(工業科)の特徴を残すことにしました。下の表をご覧ください。

系列の名称	関連する学科	主な科目
文理系列	普通科	5教科(国社数理英)・芸術系、体育系、家庭科系科目
経営・ビジネス系列	商業科	商品と流通・簿記・マーケティングなど
ものづくり系列	工業科	工業技術基礎・電気基礎・機械工作・実習など

## 「な～んだ、自分の好きな科目を勝手にとれば良いだけなんだね」

いいえ、違います。好き勝手、アトランダムに選択すればいいのではありません。選択の際に、自分の将来像を念頭に置くことが必要になります。たとえば、文理系列を選んだ人は、大学等の上級学校を志望することになりますが、語学系に進みたいのか、芸術系に進みたいのかで選択する科目が変わってきますよね。これは経営ビジネス系列でも、ものづくり系列でも同じです。自分の将来像を思い浮かべ、それを実現するための科目選択が可能なのが『総合学科』なのです。これこそが「将来を見つめ、自分の時間割を作ります」の答えとなります。